

第3回福島町健康づくり推進計画策定会議

日 時：平成19年11月13日（火）午後6時30分から

場 所：役場2階健康づくり研修室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

- (1) 健康実態調査アンケート結果報告書について
- (2) 重点分野及びライフステージの確認について
- (3) 課題検討シートの作成について
- (4) 研修会について
- (5) その他

4. 閉 会

福島町健康づくり推進計画策定会議

1. 策定会議メンバー構成

区 分	団体名等	職名	氏 名
関係団体	福島医歯会	会 長	上 嶋 秀 司
		理 事	富 山 雅 則
	健康フェスティバル実行委員会	会 長	小笠原 実
		監 事	住 吉 数 雄
	健康づくり推進員	推 進 員	福 士 公 子
推 進 員		道 下 絹 子	
町民代表	町内会連合会	会 長	塚 本 謙 也
	民生委員協議会	副 会 長	相 川 徳 人
	町PTA連合会	会 長	中 塚 徹 朗
	国民健康保健運営協議会	会 長	吉 村 次 郎
	介護保険運営協議会	委 員	常磐井 美穂子
町関係課	町民課	課 長	川 岸 勤 夫
	財務課	課 長	花 田 春 夫
	産業課	課 長	三 鹿 菊 夫
	総務課	課 長	丁子谷 雅 男
	教育委員会	次 長	木 村 修
	計		16名

事務局	町民課福祉グループ	参 事	工 藤 昭 一
		総括主査	鳴 海 清 春

2. 専門部会メンバー構成

課 名	グループ名	職名	氏 名
町 民 課	住民グループ	総括主査	盛 川 哲
		主 査	小 鹿 浩 二
	福祉グループ	主 査	三 上 美 穂
		主 査	原 田 良 子
		保 健 師	村 上 啓 子
		保 健 師	鈴 木 園 子
		栄 養 士	小 松 紋 子
総 務 課	総務グループ	主 査	阿 部 憲 一
	企画グループ	総括主査	前 田 勝 広
財 務 課	財務グループ	総括主査	谷 藤 悟
産 業 課	商工グループ	主 査	小 鹿 一 彦
教育委員会	学校教育グループ	総括主査	飯 田 富 雄
	生涯学習グループ	総括主査	堀 井 俊 彦
	生涯学習グループ	総括主査	堀 耕 一

事 務 局	町民課福祉グループ	総括主査	鳴 海 清 春
		主 査	西 田 啓 晃

(2) 重点分野及びライフステージの確認について

「今後の生活習慣病対策の推進について（中間とりまとめ）」（厚生労働省）

【分野】※	【取組の方向性】
(1) 栄養・食生活	栄養・食生活は、多くの生活習慣病との関連が深く、また、生活の質との関連も深い分野です。 町民が良好な食生活の実現を図るため、「食育」等を通し、個人の行動変容を支援する環境づくりを目指します。
(2) 身体活動・運動	身体活動・運動には、生活習慣病の発生を予防する効果があり、健康づくりの重要な要素です。 身体活動・運動に対する町民意識を高め、日常的な運動習慣を持つ者の割合を増加させるとともに、気軽に活動できる環境づくりを目指します。
(3) 休養・こころの健康づくり	こころの健康は、生活の質を大きく左右する要素です。 身体及びこころの健康を保つための三要素は、適度な「運動」、バランスの取れた「栄養・食生活」、心身の疲労回復と充実した人生を目指す「休養」とされます。 町民が、休養・こころの健康づくりに関する知識の学習機会やリフレッシュの機会を得られるような環境づくりを目指します。
(4) たばこ	たばこは、がんや循環器病など多くの疾患と関連があるほか、妊娠に関連した異常の危険因子です。 国の「健康日本21」においては、①たばこの健康影響についての十分な知識の普及、②未成年者の喫煙防止(防煙)、③受動喫煙の害を排除し、減少させるための環境づくり(分煙)、④禁煙希望者に対する禁煙支援について設定されており、これら項目に関する環境づくりを目指します。
(5) アルコール	飲酒は、急性アルコール中毒や臓器障害の原因となることがあり、多量な飲酒等は健康に対し大きな影響を与えるものです。 国の「健康日本21」においては、①多量飲酒者の減少、②未成年者の飲酒防止、③節度ある適度な飲酒についての知識の普及について設定されており、これら項目に関する環境づくりを目指します。
(6) 歯の健康	歯の健康は、食物の咀嚼のほか、食事や会話を楽しむ等による、生活の質を確保するための基礎となる重要な要素です。 生涯にわたり自分の歯を20歯以上保つことにより、健全な咀嚼能力を維持し、健やかで楽しい生活をすごそうという「8020（ハチマル・ニイマル）運動」が推進されており、この実現に向けた歯及び口腔の健康増進の環境づくりを目指します。
(7) 生活習慣病・健康管理	内臓脂肪型肥満、糖尿病、高血圧症、高脂血症の予備群を中心に、メタボリックシンドロームの概念を導入した健診・保健指導等のサービスを提供するなど、生活習慣病予防のための環境づくりを目指します。

○ライフステージについて

福島町			(すこやか北海道21)		
1	乳幼児期	(0～5歳)	1	乳・幼児期	(0～5歳)
2	子ども期	(6～18歳)	2	学齢期	(6～15歳)
			3	青年期	(16～24歳)
			4	壮年期	(25～44歳)
3	青・壮年期	(19～44歳)			
4	中年期	(45～64歳)	5	中年期	(45～64歳)
			6	高年期	(65歳以上)
5	高年期	(65歳以上)			

子ども期については、健診時データ等母子保健関連データ及び次世代育成支援地域行動計画関連データを活用する

(3) 課題検討シートの作成について

①グループ分けについて

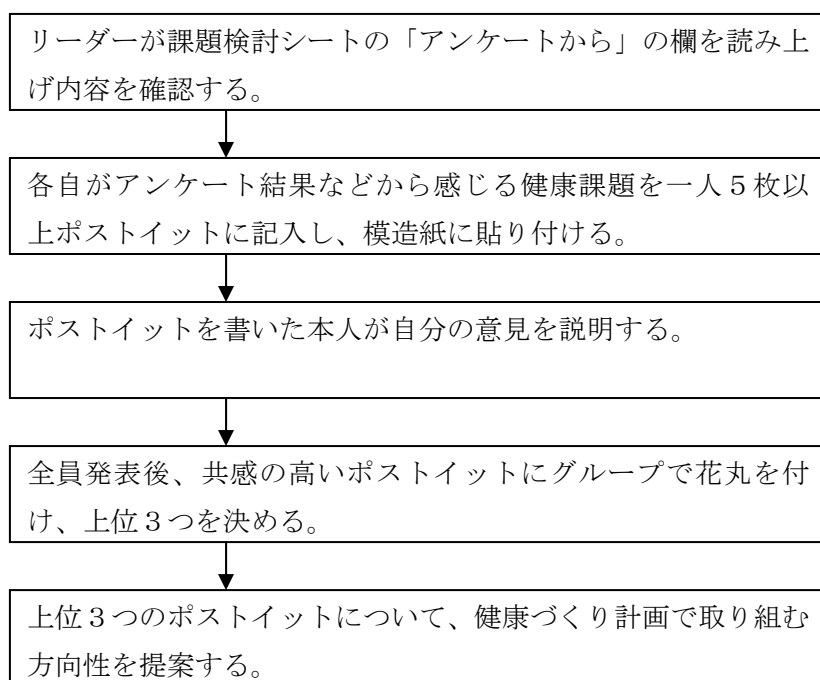
ア. 出席者全体を3分野のグループに分ける。

- 第1班～「栄養・食生活」
- 第2班～「運動」
- 第3班～「歯と口腔」

イ. リーダー及び書記を決める。

- リーダーの役割～進行役
- 書記～模造紙の管理、取組方向の記入

②グループによる検討について



③全体での検討について

(4) 研修会について

事業名	福島町健康づくり推進計画策定支援事業
開催日	1月16日(水)
会場	青函トンネル記念館シアター室
講師	北海道大学高等教育機能開発総合センター 生涯スポーツ科学研究部門 教授 川初清典  高齢化が進んで、新たに生涯を通す健康・体力づくりを学習・実践するニーズが高まっています。 健康・体力づくりに役割を果たすスポーツ科学研究、スポーツ手法の健康弱者・高齢者応用研究を進めています。
テーマ	北海道の健康づくりと運動 ～すこやか北海道21から学ぶ～
主催	福島町
後援	財団法人 北海道健康づくり財団
対象者	健康づくり推進計画策定会議メンバー、健康づくり推進員、町内会長、町議会議員、一般町民
予定人数	50名程度